

薬物のタンパク結合に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. ワルファリンは、血中に入ると極めて速くアルブミンに結合し、その反応は不可逆的である。
2. 血漿中でアルブミンに結合したイブプロフェンは、生体膜を通過することができない。
3. インドメタシンは、 α_1 -酸性糖タンパク質との親和性が、アルブミンとの親和性よりも高い。
4. リドカインは、アルブミンとの親和性が、 α_1 -酸性糖タンパク質との親和性よりも高い。
5. ジアゼパムは、アルブミン分子上の結合サイト I に結合する。

アトピー性皮膚炎とその治療に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. アトピー性皮膚炎では、皮膚のバリア機能が低下し、血中 IgE 濃度の低下が認められることが多い。
2. ステロイド外用剤は、炎症を抑制する目的で用いられ、作用強度により5段階に分類されている。
3. シクロスポリンの外用剤は、ステロイド外用剤の使用が制約される顔面の病変に対して特に有用である。
4. ピロキシカムの外用剤は、保湿性の皮膚保護作用を期待してスキンケアに用いられる。
5. アゼラスチン塩酸塩は、痒みの抑制を期待して用いられる第一世代抗ヒスタミン薬である。